AirMac Express
設定ガイド

目次

はじめに

1

AirMac Express をご購入いただきありがとうございます。ご使用の際にはこのガイドをお読みください。

AirMac Express は、IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）ドラフト 802.11n 仕様に準拠しており、これまでの IEEE 802.11 規格よりも高いパフォーマンスと広い通信範囲を提供します。AirMac Express は、802.11b、802.11g、802.11a、および 802.11n ワイヤレス規格を使用するコンピュータと互換性があります。

AirMac Express を使用すると、ブロードバンドインターネット接続環境をネットワーク上の複数のワイヤレス LAN につながっているコンピュータで共有したり、「iTunes」のミュージックライブラリをホームオーディオで再生したり、USB プリンタを共有したりできます。

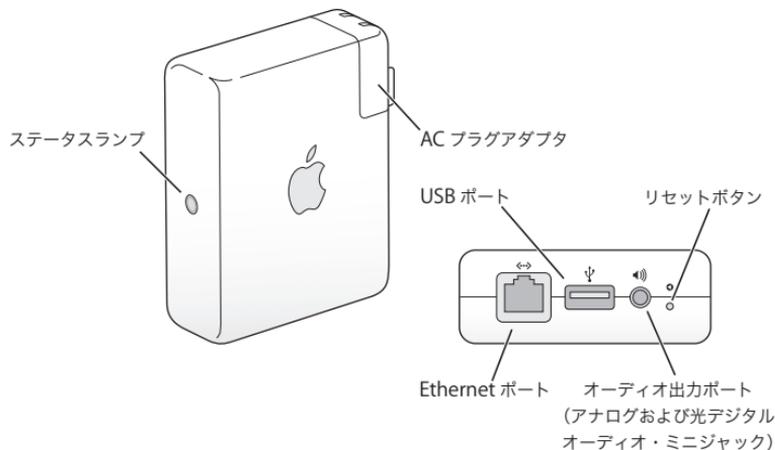
AirMac Express の AirTunes 機能を使うと、「iTunes」のミュージックライブラリをリモートスピーカーから簡単に再生できます。

AirMac Express では、次のことができます：

- 自宅でワイヤレスネットワークを作って、ワイヤレスのインターネット接続環境を提供できます。1 つのインターネット接続を 10 台までのコンピュータ、または iPhone、iPod touch、Apple TV などの Wi-Fi 装置の間で共有できます。家族全員が同時にインターネットに接続できます。
- AirMac Express をホームオーディオやアンプ内蔵スピーカーに接続し、AirMac または AirMac Extreme カードを搭載した Macintosh、あるいは対応する Windows（XP または Vista）コンピュータから、AirTunes を使って「iTunes」のミュージックライブラリをホームオーディオで再生できます。
- Ethernet ネットワークにワイヤレスで接続するように設定できます。AirMac または AirMac Extreme を装備した Macintosh コンピュータ、あるいは Windows（Vista または XP）コンピュータは、ケーブルを使って接続しなくても、ネットワーク全体にアクセスできます。
- USB プリンタを AirMac Express に接続できます。ワイヤレスまたはケーブルで接続されている AirMac ネットワーク上の対応するすべてのコンピュータは、このプリンタを使用できます。

AirMac Express について

AirMac Express の底面には次の 3 つのポートがあります：

- Ethernet（<···>）ポート：DSL モデムまたはケーブルモデムを接続する場合、または既存の Ethernet ネットワークに接続する場合に使用します
- アナログおよび光デジタル・オーディオ・ステレオ・ミニジャック（◀))）：AirMac Express をホームオーディオまたはアンプ内蔵スピーカーに接続する場合に使用します
- USB（ψ）ポート：AirMac Express に対応するプリンタを接続する場合に使用します

ポートの隣にあるのはリセットボタンで、AirMac Express の問題を解決する場合に使用します。AirMac Express の側面にあるステータスランプは、現在の状況を示します。

AirMac ソフトウェアについて

AirMac Express では、AirMac Express CD に収録されている AirMac ソフトウェアを使用します。

AirMac ユーティリティ

「AirMac ユーティリティ」を使って、ワイヤレスネットワークを作成したり、インターネットに接続したり、USB プリンタを共有するように AirMac Express を設定できます。AirMac Express を既存の AirMac Express または AirMac Extreme ワイヤレスネットワークに接続して、ネットワークのワイヤレス通信範囲を拡張することもできます。これを WDS といいます。「AirMac ユーティリティ」を使えば、AirMac Express とワイヤレスネットワークをすばやく簡単に設定できます。

「AirMac ユーティリティ」は、AirMac Extreme ベースステーションと AirMac Express ベースステーションの設定と管理のための詳細設定用ツールでもあります。ネットワーク、ルーティング、およびセキュリティの設定や、その他の詳しい設定を調節するときは、「AirMac ユーティリティ」を使用してください。

メニューバーの AirMac ステータスメニュー

ほかの AirMac ネットワークにすばやく切り替えたり、現在のネットワークの信号の品質を監視したり、コンピュータ間のネットワークを設定したり、AirMac を開始または停止したりするときは、AirMac ステータスメニューを使用します。ステータスメニューは、Mac OS X を使用するコンピュータで利用できます。

この製品を使用するために必要なもの

Macintosh を使用して AirMac Express を設定するには、次のものが必要です：

- AirMac カードまたは AirMac Extreme カードが取り付けられている Macintosh コンピュータ
- Mac OS X v10.4 以降

Windows PC を使用して AirMac Express を設定するには、次のものが必要です：

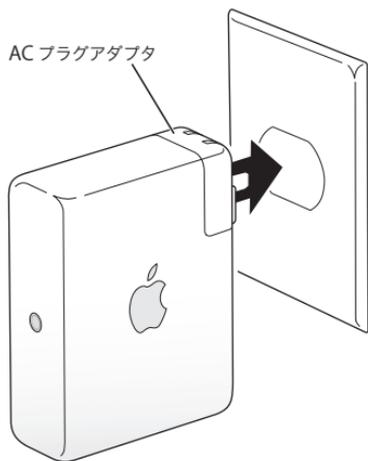
- プロセッサ速度が 300 MHz 以上で、互換性のある 802.11a、802.11b、802.11g、または 802.11n ワイヤレスアダプタを搭載した Windows PC
- Windows Vista、または Windows XP（Service Pack 2 がインストール済みのもの）

コンピュータのサウンドを AirMac Express に接続されたステレオで再生するには、「iTunes」が必要です。最新バージョンの「iTunes」を使用していることを確認するには、www.apple.com/jp/itunes にアクセスしてください。

AirMac Express は、IEEE 802.11a、802.11b、802.11g、または 802.11n の規格に準拠したワイヤレス対応のコンピュータで使用することができます。AirMac Express を設定するには、コンピュータが上記の条件を満たしている必要があります。

AirMac Express を電源につなぐ

AirMac Express を電源に接続する前に、DSL またはケーブルモデムに接続された Ethernet ケーブル（インターネットに接続する場合）、ステレオに接続されたオーディオケーブル（「iTunes」のミュージックライブラリの曲を再生するために AirTunes を使用する場合）、対応する USB プリンタに接続された USB ケーブル（USB プリンタでプリントする場合）など、適切なケーブルを使用するポートに接続します。

使用するすべての装置のケーブルを接続したら、AirMac Express を電源コンセントにつなぎます。電源スイッチはありません。

AirMac Express の AC アダプタを電源コンセントにつなぐと、起動中にステータスランプが 1 秒間緑色に点滅してからオレンジ色に点灯します。起動が完全に終了すると、新しい設定でアップデートされるまでステータスランプがオレンジ色に点滅します。AirMac Express が正しく設定されインターネットまたはネットワークに接続されると、ステータスランプが緑色に点灯します。

AirMac Express のステータスランプ

以下の表に AirMac Express の LED 表示とその意味を説明します。

ランプ	表示状態／説明
消灯	AirMac Express の電源が入っていません。
緑の点滅	AirMac Express が起動中です。ランプが 1 秒間点滅します。
緑の点灯	AirMac Express に電源が入り、正常に動作しています。「AirMac ユーティリティ」の「ベースステーション」パネルにある「ステータスランプ」ポップアップメニューから「動作時に点滅」を選択した場合、ステータスランプが、通常の動作を示す緑で点滅することがあります。

ランプ	表示状態／説明
オレンジの点滅	AirMac Express 上でネットワークまたはインターネットへの接続を確立できないか、問題が起きています。「AirMac ユーティリティ」がインストールされていることを確認し、それを使ってステータスランプがオレンジ色に点滅する原因に関する情報を入手します。32 ページの「AirMac Express のステータスランプがオレンジ色に点滅する場合」を参照してください。
オレンジの点灯	AirMac Express は起動シーケンスを完了中です。
オレンジと緑の点滅	起動の問題が発生している可能性があります。AirMac Express は再起動し、再度試行します。
青の点灯	ベースステーションのワイヤレスクライアントからネットワークにアクセスできる状態になっています。詳しくは、26 ページの「ワイヤレスクライアントからネットワークにアクセスすることを許可する」を参照してください。

次のステップ

AirMac Express を接続した後は、「AirMac ユーティリティ」を使って、インターネット接続、ステレオ、USB プリンタ、または既存のネットワークを使用できるように設定します。

AirMac Express のさまざまな使いかたの例とワイヤレスネットワークの設定方法については、13 ページの「AirMac Express を使用する」を参照してください。

設定の過程について詳しくは、21 ページの「AirMac Express を設定する」を参照してください。

AirMac Express を使用する

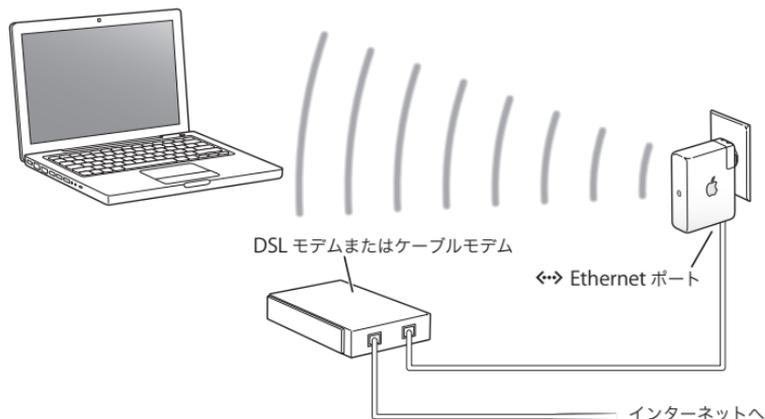
2

この章では、AirMac Express のさまざまな使いかたについて説明します。

この章では、AirMac Express の使いかたに合わせた設定の例を示します。また、AirMac Express ネットワークをすばやく設定し、実行するために必要な作業についても簡単に説明します。

AirMac Express をブロードバンド・インターネット・サービスで使用する

ネットワークとインターネット接続環境を提供するように AirMac Expressを設定すると、AirMac カードまたは AirMac Extreme カードが搭載された Macintosh コンピュータと 802.11a、802.11b、802.11g、または 802.11n ワイヤレスコンピュータから、ワイヤレス AirMac ネットワークにアクセスして、ファイルを共有したり、ゲームで遊んだり、Web ブラウザやメールアプリケーションなどのインターネットアプリケーションを使用したりできます。

このネットワークの構成

このネットワークの設定方法

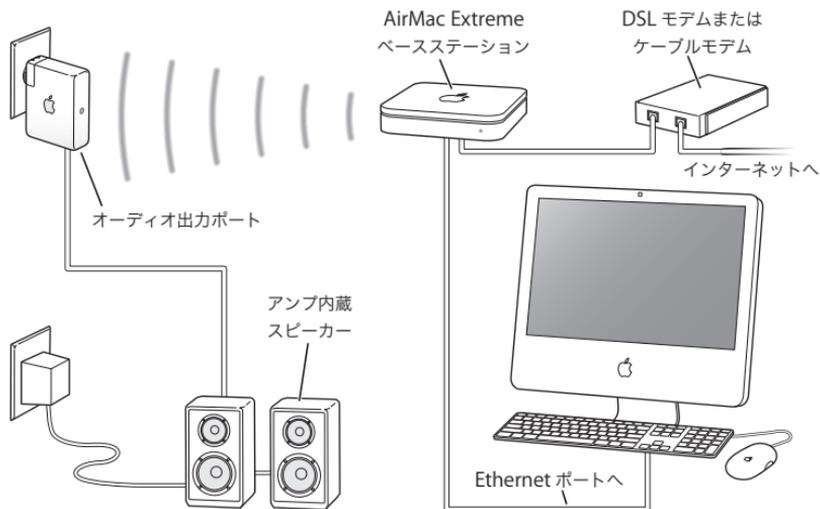
1 Ethernet（<···>）ポートを使用して DSL またはケーブルモデムを AirMac Express に接続します。
2 「AirMac ユーティリティ」を使用して新しいネットワークを作ります。（詳しくは、21 ページの「AirMac Express を設定する」を参照。）

AirMac を使用するコンピュータおよびその他のワイヤレス LAN 用のカードやアダプタを使用するコンピュータは、AirMac Express を通じてインターネットに接続されます。

ワイヤレス LAN につながっているコンピュータは、AirMac Express を通じて互いに通信可能です。

既存のワイヤレスネットワークで AirMac Express を使って、アンプ内蔵スピーカーやホームオーディオに音楽をストリーム配信する

AirMac Express をクライアントとして既存のワイヤレスネットワークに接続することもできます。AirMac Express をステレオやアンプ内蔵スピーカーに接続し、AirTunes を使って「iTunes」の曲を再生してください。AirMac Express を既存のネットワークに接続すると、AirMac Express をネットワークのワイヤレス通信範囲内の別の部屋に置くことができます。

このネットワークの構成

このネットワークの設定方法

1 お持ちのステレオに装備されているコネクタの種類に応じて、デジタル光ファイバーケーブル、アナログ・ステレオミニ - デュアル RCA ケーブル、またはステレオミニ - ステレオミニ・ケーブルをステレオ・ミニジャック（🔊）に接続して、AirMac Express をホームオーディオまたはアンプ内蔵スピーカーに接続します。

   参考：AirMac Express で USB スピーカーを使用することはできません。ステレオ・ミニジャック・コネクタ付きのアンプ内蔵スピーカーを使用してください。

2 ワイヤレスネットワークに接続するには、Macintoshのメニューバーにある AirMacステータスメニューを使用します。Windows コンピュータの場合、AirMac ネットワーク名（SSID）が表示されるまでポインタをワイヤレス接続アイコンの上に置きます。複数のネットワークが表示された場合は、リストから選択します。必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力します。

3 コンピュータで「iTunes」を開き、「iTunes」ウインドウの右下の角にあるスピーカーのポップアップメニューから使用するステレオまたはスピーカーを選びます。

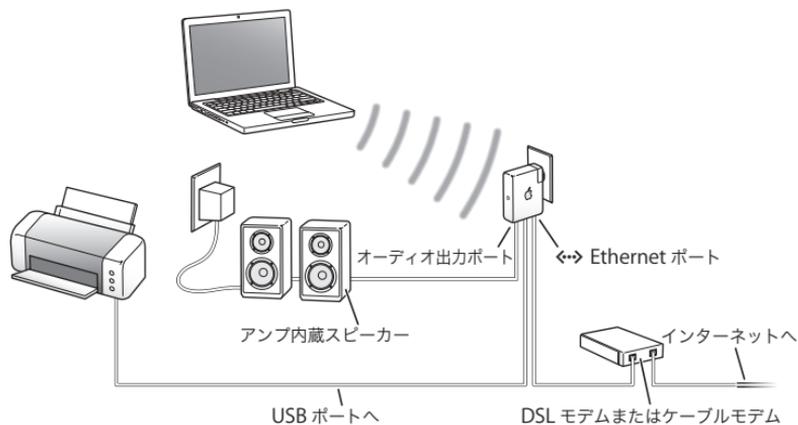
   スピーカーのポップアップメニューから「複数のスピーカー」を選択することで、「iTunes」のミュージックライブラリを複数の AirMac Express に一度にストリーム配信できます。

   AirMac Express のワイヤレス通信範囲内にあるワイヤレス LAN につながっているコンピュータで iTunes 4.6 以降を使って、ワイヤレスで音楽をストリーム配信できます。AirMac Express に音楽を配信できるのは、一度に 1 台のコンピュータのみです。

   AirMac Express をステレオのフォノジャックに接続しないでください。

AirMac Express を使って USB プリンタを共有する

USB プリンタを AirMac Express に接続すると、ワイヤレスネットワーク上のすべてのコンピュータがそのプリンタを使用できます。

このネットワークの構成

このネットワークの設定方法

1 USB ケーブルを使ってプリンタを AirMac Express の USB（ψ）ポートに接続します。

2 「AirMac ユーティリティ」を使用し、新しいネットワークの作成、または既存のネットワークへの追加を行います。（21 ページの「AirMac Express を設定する」を参照してください）。

ワイヤレス LAN につながっているコンピュータは、Mac OS X v10.2.7 以降または Windows Vista または Windows XP を使用して、プリンタに出力できます。

Mac OS X v10.3 または v10.4 を使用するコンピュータでプリンタを使用するには：

1 「プリンタ設定ユーティリティ」（「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにあります）を開きます。

2 リストからプリンタを選びます。

目的のプリンタがリストにない場合は、「追加」をクリックし、ポップアップメニューから「Bonjour」を選んだ後で、リストからプリンタを選びます。

Mac OS X v10.5 を使用するコンピュータでプリンタを使用するには：

1 「アップル」＞「システム環境設定」と選択してから、「プリントとファクス」をクリックします。

2 リストでプリンタを選びます。プリンタの名前がリストにない場合は、リストの下部にある「追加」（＋）ボタンをクリックしてから、使用したいプリンタを選択します。

Windows コンピュータでプリンタを使用するには：

1 AirMac Express に付属の CD から Bonjour for Windows をインストールします。

2 画面に表示される指示に従って、プリンタを接続します。

別売のオーディオケーブルと電源コード

別売の AirMac Express Stereo Connection Kit を購入すると、AirMac Express をホームオーディオやアンプ内蔵スピーカーに接続できます。このキットには、アナログ・ステレオミニ - デュアル RCA コネクタケーブル、Toslink デジタル光ファイバーケーブル、および電源コードが含まれています。

- ステレオで標準のアナログケーブルが使用されている場合は、アナログケーブルをホームステレオに接続します。
- ステレオにデジタル Toslink ポートがある場合は、デジタル光ファイバーケーブルを接続します。
- 電源コンセントから離れた場所に AirMac Express を配置する場合は、電源コードを接続します。

AirMac Express を設定する

3

この章では、AirMac ソフトウェアを使用した AirMac Express の設定とその手順について説明します。

前の章の図を使用すると、AirMac Express を使用する場所や、AirMac ネットワーク上で設定する機能を決めるときに役に立ちます。次に、この章の説明を参考にすると、AirMac Express およびワイレスネットワークを簡単に構成できます。

「AirMac ユーティリティ」では、次のことができます：

- ワイヤレスLANにつながっているコンピュータの相互通信に使用する新しいワイヤレスネットワークを設定します。AirMac Express をベースステーションとして設定し、インターネットに接続する場合は、ワイヤレス LAN につながっているコンピュータでインターネット接続を共有することもできます。
- AirMac Express を既存のワイヤレスネットワークに接続し、AirTunes を使って「iTunes」のミュージックライブラリをホームステレオやアンプ内蔵スピーカーで再生したり、共有する USB プリンタを接続したりします。

AirTunes を使って「iTunes」のミュージックライブラリの曲を再生したり、新しいネットワークか、既存のネットワークに接続しているかにかかわらず、設定する任意の種類のネットワークで USB プリンタを共有したりできます。

複数の AirMac Express を使用する場合は、1 台をリビングルームのステレオに接続し、もう 1 台を書斎のアンプ内蔵スピーカーに接続するように設定することもできます。AirTunes を使用する

と、家の中の場所に応じて、いずれかの AirMac Express に「iTunes」のミュージックライブラリをストリーム配信できます。「iTunes」ウインドウの右下隅にあるスピーカーのポップアップメニューから、使いたい AirMac Express の名前を選択します。「iTunes」を複数の AirMac Express に同時にストリーム配信することもできます。

この章では、「AirMac ユーティリティ」の設定アシスタントを使った AirMac Express のネットワークとその他の機能の設定の概要について説明します。ワイヤレスネットワークの詳細および「AirMac ユーティリティ」の高度な機能については、www.apple.com/jp/support/airmac にある「AirMac ネットワーク構成の手引き AirMac ユーティリティ編(Mac OS X v10.5 + Windows)」書類を参照してください。

この製品ドキュメントでは、次の 2 つの点に関する詳細を説明しています:

- AirMac Extreme 802.11n ベースステーションでの「AirMac ユーティリティ」の使用方法
- 「AirMac ユーティリティ」を使った AirMac Express 802.11g ベースステーションの設定方法

参考: 大部分のネットワークの設定作業は「AirMac ユーティリティ」の設定アシスタントを使って実行できます。詳細なオプションを設定するには、「AirMac ユーティリティ」の「ベースステーション」メニューから「手動設定」を選択します。詳しくは、27 ページの「詳細なオプションを設定する」を参照してください。

AirMac ユーティリティを使用する

ワイヤレスネットワークとインターネットへのアクセスに AirMac を使用するように AirMac Express を設定するには、「AirMac ユーティリティ」の設定アシスタントを使います。「AirMac ユーティリティ」は、AirMac Express CD に収録されているソフトウェアをインストールするときにインストールされます。

Mac OS X v10.4 以降を使用する Macintosh の場合：

1 「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにある「AirMac ユーティリティ」を開きます。

2 AirMac Express を選択して、「続ける」をクリックします。

3 画面に表示される指示に従って、AirMac Express とワイヤレスネットワークを設定します。

Windows XP（Service Pack 2 がインストール済みのもの）を使用するコンピュータの場合：

1 「スタート」>「すべてのプログラム」>「AirMac」にある「AirMac ユーティリティ」を開きます。

2 AirMac Express を選択して、「続ける」をクリックします。

3 画面に表示される指示に従って、AirMac Express とワイヤレスネットワークを設定します。

「AirMac ユーティリティ」の設定アシスタントには、使用するネットワークの種類や設定するサービスに関する一連の質問が表示されます。設定アシスタントに従って、設定するネットワークに適した設定を実行できます。

AirMac Express を使ってインターネットに接続する場合は、ISP（インターネット・サービス・プロバイダ）のブロードバンド回線のアカウント、または既存の Ethernet ネットワークによるインターネット接続が必要です。サービスプロバイダから特定の情報（固定 IP アドレスや PPPoE ユーザ名とパスワードなど）を受け取っている場合は、「AirMac ユーティリティ」で入力しなければならないことがあります。この情報を用意してから、AirMac Express を設定してください。

新しいワイヤレスネットワークを作る

「AirMac ユーティリティ」の設定アシスタントを使用して、新しいワイヤレスネットワークを作成できます。設定アシスタントは、ネットワークに名前を付けたり、パスワードでネットワークを保護したり、その他のオプションを設定したりするために必要な手順を示します。

ネットワーク上で USB プリンタを共有する場合：

1 プリンタを AirMac Express の USB（ψ）ポートに接続します。

2 「AirMac ユーティリティ」を開きます。Macintosh コンピュータの場合は「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにあり、Windows XP を使用するコンピュータの場合は「スタート」＞「すべてのプログラム」＞「AirMac」にあります。

3 画面に表示される指示に従って、新しいネットワークを作成します。

インターネット接続環境を構成する／共有する

ネットワーク上の複数のワイヤレスコンピュータでインターネット接続を共有する場合は、AirMac Express のインターネット接続を共有するように設定する必要があります。AirMac Express の設定が完了した後は、コンピュータは AirMac ネットワークを通じてインターネットにアクセスできます。AirMac Express はインターネットに接続し、AirMac ネットワークを介して各コンピュータに情報を転送します。

「AirMac ユーティリティ」を使用してベースステーションを設定する前に、DSL モデムまたはケーブルモデムを AirMac Express の Ethernet（<···>）ポートに接続します。インターネットの利用が可能な既存の Ethernet ネットワークを使用して、インターネットに接続する場合は、AirMac Express を Ethernet ネットワークに接続します。

「AirMac ユーティリティ」の設定アシスタントを使用して、ISP 設定を入力し、AirMac Express をほかのコンピュータとどのように共有するかを構成します。

「AirMac ユーティリティ」を使用すると、ベースステーションとネットワークをすばやく簡単に設定できます。ネットワークへのアクセスを制限したり、DHCP の詳細オプションを設定するなど、ネットワークの追加オプションを設定したい場合は、「AirMac ユーティリティ」の「ベースステーション」メニューから「手動設定」を選択します。

既存のワイヤレスネットワークに接続する

「AirMac ユーティリティ」を使用して、既存のワイヤレスネットワークに接続できます。AirMac Express をホームステレオに接続すると、ワイヤレスネットワーク上のコンピュータから AirTunes を使って、「iTunes」のミュージックライブラリの曲をステレオで再生できます。AirMac Express に USB プリンタを接続する場合は、ネットワーク上のすべてのコンピュータからプリンタにプリントできます。

「AirMac ユーティリティ」を使用する前に、オーディオケーブルをステレオに、USB ケーブルをプリンタに必ず接続してください。

既存のネットワークに接続するには：

1 「AirMac ユーティリティ」を開きます。Macintosh コンピュータの場合は「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにあり、Windows コンピュータの場合は「スタート」＞「すべてのプログラム」＞「AirMac」にあります。

2 画面に表示される指示に従って、AirMac Express とワイヤレスネットワークを接続します。

ワイヤレスクライアントからネットワークにアクセスすることを許可する

お使いのネットワークが WPA パーソナルまたは WPA ／ WPA2 パーソナルを使ってパスワードで保護されている場合でも、ワイヤレスクライアントがネットワークパスワードを入力せずにネットワークにアクセスできるよう、設定することができます。

クライアントからネットワークにアクセスすることを許可すると、クライアントの名前とワイヤレス MAC アドレス（または AirMac ID）が「AirMac ユーティリティ」のアクセス制御リストに保存されます。クライアントはリストから削除するまで残っています。アクセスを 24 時間だけ許可し、その時間が経過したらそのクライアントはネットワークにアクセスできなくなるように設定することもできます。

クライアントからワイヤレスネットワークにアクセスすることを許可すると、そのクライアントはネットワークパスワードを入力する必要がなくなります。

クライアントがネットワークにアクセスすることを許可するには：

1 「AirMac ユーティリティ」を開き、ベースステーションを選択してから、「ベースステーション」メニューから「手動設定」を選びます。必要に応じて、ベースステーションのパスワードを入力します。

2 「ベースステーション」メニューから「ワイヤレスクライアントを追加」を選択します。

3 クライアントに許可するネットワークアクセス方法を選択します：

- 「PIN」を選択した場合は、ネットワークアクセスを必要とするクライアントが入力する 8 桁の数字を入力します。
- 「最初に接続したクライアント」を選択した場合は、ネットワークに接続しようとする最初のクライアントにネットワークアクセスが許可されます。

4 ネットワークへのアクセスを1日だけ許可したい場合は、「クライアントのアクセスを 24時間に制限」を選択します。このオプションを選択しない場合は、クライアントのネットワークアクセスはリストからクライアントの名前を削除するまで許可されます。

詳細なオプションを設定する

詳細なオプションを設定するときは、「AirMac ユーティリティ」を使って AirMac Express を手動で設定できます。高度なセキュリティオプション、非公開ネットワーク、DHCP リース時間、アクセス制御、送信電波の強さ、ユーザアカウントの設定など、ベースステーションをより詳細に構成することができます。

詳細なオプションを設定したり、すでに設定したネットワークに変更を加えたりするには：

1 変更するワイヤレスネットワークを選択します。

Macintosh で、メニューバーにある AirMac ステータスメニューを使用します。Windows XP を使用するコンピュータの場合、AirMac ネットワーク名（SSID）が表示されるまでポインタをワイヤレス接続アイコンの上に置きます。複数のネットワークが表示された場合は、リストから選択します。

アップルのベースステーションのデフォルトネットワーク名は、「AppleNetwork XXXXXX」です。XXXXXX は、AirMac ID（MAC（Media Access Control）アドレスとも呼ばれます）の最後の6桁の番号になります。AirMac IDは、AirMac Expressの電源プラグ側にプリントされています。

2 「AirMac ユーティリティ」（Macintosh の場合は「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにあり、Windows XP を使用するコンピュータの場合は「スタート」＞「すべてのプログラム」＞「AirMac」にあります）を開きます。

3 リストに複数のベースステーションが表示される場合は、変更するベースステーションを選びます。目的のベースステーションが表示されない場合は、「再スキャン」をクリックして使用可能なベースステーションをスキャンしてから、目的のベースステーションを選びます。

4 「ベースステーション」メニューから「手動設定」を選択します。パスワードの入力を求められた場合は、パスワードを入力します。

ヒントとトラブルシューティング

4

この章では、AirMac Express を使用する上でよくあるトラブルをすばやく解決できる方法を紹介します。

AirMac Express ソフトウェアで適切な AirMac ハードウェアを見つけられない場合

お使いのコンピュータに AirMac カードまたは AirMac Extreme カードが取り付けられていることを確かめてください。カードを取り付けたばかりの場合は、コンピュータの電源を切って、カードが正しく取り付けられていることを確かめてください。AirMac のアンテナがカードにしっかりと接続されていることを確かめてください（アンテナがしっかり接続されると、カチッという音がします）。カードのもう一端が AirMac カードスロットのコネクタに確実に差し込まれていることを確かめてください。

Windows コンピュータを使用している場合は、ワイヤレスカードまたはアダプタが正しく取り付けられていることを確かめてください。接続の確認方法については、コンピュータに付属の説明書を参照してください。

iTunes のミュージックライブラリの曲をステレオで再生できない場合

次の点を確認してください：

- AirMac Express が電源コンセントに接続されていること、コンピュータのワイヤレス通信範囲内にあること、適切なケーブルを接続していることを確かめてください。また AirMac Express ネットワークへの接続ができているか、確認してください。
- 「iTunes」ウインドウの右下隅にあるスピーカーのポップアップメニューで、AirMac Express が選択されていることを確認してください。
- iTunes 4.6 以降を使用していることを確かめてください。

音楽の再生中に音が聞こえない場合

音楽は再生されている（「iTunes」ウインドウの上部にある進行状況バーが動いている）のに、何も聞こえない場合は、次のことを確認してください：

- AirMac Express に接続されたスピーカーから音楽を再生しているときに、「iTunes」の環境設定の「オーディオ」パネルで「リモートスピーカーの音量を iTunes から制御できないようにする」チェックボックスにチェックマークを付けている場合は、「iTunes」ウインドウの下部にあるポップアップメニューでリモートスピーカーが選択されていること、リモートスピーカーの音量が小さくなっていないことを確かめてください。

ネットワークや AirMac Express のパスワードを忘れてしまった場合

AirMac Express をリセットすることで、AirMac ネットワークや AirMac Express のパスワードをデフォルトに戻すことができます。

パスワードをリセットするには：

1 まっすぐに伸ばしたクリップの先端を使って、リセットボタンを 1 秒間押し続けます。

2 AirMac ネットワークを選択します。

Macintosh コンピュータの場合：

- メニューバーにあるAirMacステータスメニューで、AirMac Expressで構成されたネットワークを選択します（ネットワーク名は変更されません）。

Windows（Vista または XP）を使用するコンピュータの場合：

- AirMac ネットワーク名（SSID）が表示されるまでポインタをワイヤレス接続アイコンの上に置きます。複数のネットワークが表示された場合は、リストから選択します。

3 「AirMac ユーティリティ」（Macintosh の場合は「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにあり、Windows を使用するコンピュータの場合は「スタート」＞「すべてのプログラム」＞「AirMac」にあります）を開きます。

4 AirMac Express を選択して、「構成」をクリックします。

5 ダイアログが表示されたら、以下の項目を変更します：

   - AirMac Express のパスワードをリセットします。
   - 暗号化機能を使用して AirMacネットワークのパスワード保護を有効にします。暗号化機能を使用する場合は、AirMac ネットワーク用の新しいパスワードを入力してください。

6 「OK」をクリックします。

新しい設定を読み込むため、AirMac Express が再起動します。

AirMac Express が応答しない場合

AirMac Express のプラグを電源コンセントから外し、もう一度接続してみてください。

AirMac Express が完全に応答しなくなった場合は、AirMac Express を出荷時の設定にリセットする必要があります。これにより、設定した内容はすべて消去され、AirMac Express の設定が購入時の状態に戻ります。

AirMac Express のステータスランプがオレンジ色に点滅する場合

Ethernet ケーブルが適切に接続されていないか、AirMac Express が AirMac ネットワークの通信圏外にあるか、インターネット・サービス・プロバイダで問題が発生している可能性があります。DSL モデムまたはケーブルモデムを使ってインターネットに接続している場合は、そのモデムがネットワークまたはインターネットへの接続を失っている可能性があります。モデムが適切に動作しているように見える場合でも、モデムを電源から切断し、数秒間待ってから、再度接続してみてください。モデムを再度電源に接続する前に、AirMac Express が Ethernet を介してモデムに直接接続されていることを確認してください。

ランプがオレンジ色に点滅する理由について詳しくは、「AirMac ユーティリティ」を開き、ベースステーションを選択して、「ベースステーション」メニューから「手動設定」を選択してください。必要に応じてベースステーションのパスワードを入力してから「ベースステーションの状況」をクリックすると、点滅するランプに関する情報が表示されます。

AirMac 環境設定の「ベースステーションの問題を監視」チェックボックスを選択することもできます。ベースステーションに問題がある場合は「AirMac ユーティリティ」が開くので、画面に表示される指示に従って問題を解決してください。

参考：AirMac Express がワイヤレスクライアントとして設定されていて、接続対象のネットワークがアクセス制御リスト（ACL）で保護されている場合、ネットワークに接続するためには AirMac Express がその ACL に含まれていなければなりません。

AirMac Express を出荷時の設定に戻すには：

- まっすぐに伸ばしたクリップの先端を使って、リセットボタンを 10 秒間押し続けます。

  AirMac Express が次の設定で再起動されます：

  - AirMac Express は DHCP を使って IP アドレスを取得します。
  - ネットワーク名が「Apple Network XXXXXX」に戻ります（「X」は英数字です）。

• AirMac Express のパスワードが「public」に戻ります。

「AirMac ユーティリティ」を使って AirMac Express のプロファイルを作成した場合は、AirMac Express をリセットしてもプロファイルは維持されます。

AirMac Express を出荷時の設定に戻し、設定したすべてのプロファイルを削除する必要がある場合は、次のように操作します：

1 AirMac Express のプラグを電源コンセントから取り外します。

2 AirMac Express のプラグをもう一度電源コンセントに差し込みます。そのまま、まっすぐに伸ばしたクリップの先端を使ってリセットボタンを押し続けます。

ステータスランプが点滅したら、ベースステーションをリセットします。

プリンタが応答しない場合

AirMac Express の USB ポートにプリンタを接続していて、AirMac ネットワークのコンピュータがプリントできない場合は、次の操作を実行してください：

1 プリンタのプラグが電源に接続されていて、電源が入っていることを確かめます。

2 ケーブルが、プリンタと AirMac Express の USB ポートにしっかりと接続されていることを確かめます。

3 プリンタがクライアントコンピュータの「プリンタリスト」で選択されていることを確かめます。

Mac OS X v10.3 または v10.4 を使用するコンピュータのプリンタを選択するには：

- 「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。
- プリンタがリストにない場合は、「追加」をクリックします。
- ポップアップメニューから「Bonjour」を選びます。
- プリンタを選択して「追加」をクリックします。

Mac OS X v10.5 を使用するコンピュータでプリンタを選択するには：

- 「アップル」>「システム環境設定」と選択してから、「プリントとファクス」をクリックします。
- リストでプリンタを選びます。プリンタの名前がリストにない場合は、リストの下部にある「追加」（＋）ボタンをクリックしてから、使用したいプリンタを選択します。

Windows を使用するコンピュータでプリンタを選択するには：

- 「スタート」メニューから「プリンタと FAX」を開きます。
- プリンタを選択します。目的のプリンタがリストにない場合は、「プリンタのインストール」をクリックして、画面に表示される指示に従います。

4 プリンタの電源を切り、数秒間待ってから、もう一度電源を入れます。

AirMac ソフトウェアをアップデートしたい場合

アップルでは、AirMac ソフトウェアを定期的にアップデートしています。

ベースステーションソフトウェアをアップデートするには：

1 「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにある「AirMac ユーティリティ」を開きます。
2 AirMac ユーティリティのメニューから「アップデートを確認」を選択します。
3 ダウンロード可能なすべてのファームウェア・アップデートをダウンロードする場合は、「ダウンロード」をクリックします。お使いのベースステーション固有のファームウェアを選択する場合は、「詳細情報を表示」をクリックします。
4 ファームウェアをダウンロードしたら、「アップデート」をクリックしてベースステーションにインストールします。複数のベースステーションをアップデートする場合は、「詳細情報を表示」をクリックして、アップデートしたいベースステーションを選択してください。

AirMac Express の配置に関する注意事項

次の推奨事項は、AirMac Express で最大のワイヤレス通信範囲および最適なネットワーク範囲を実現するために役に立ちます。

- 大きな家具や壁などの障害物がほとんどない空きスペースに、AirMac Express を配置してください。金属面から離して配置してください。
- AirMac Expressを家具の裏に配置する場合は、AirMac Expressと家具の間に3 cm以上の空間を空けてください。
- AirMac Express を横にして置かないでください。
- AirMac Express を 3 面以上の金属面に囲まれている場所に配置しないでください。
- ステレオを配備した部屋に AirMac Express を配置する場合は、AirMac Express をオーディオケーブル、ビデオケーブル、または電源ケーブルで取り囲まないようにしてください。ケーブルが片側に集まるように AirMac Express を配置してください。AirMac Express とケーブルの間にできるだけ広い空間を維持してください。
- AirMac Express をステレオの裏に配置する場合は、AirMac Express をステレオのどちらか一方の隅に配置してください。ステレオの裏の中央に配置しないでください。
- 電子レンジ、2.4 GHz のコードレス電話、またはその他の干渉源から 8 m 以上離れた場所に AirMac Express を配置してください。

AirMac への干渉を引き起こすもの

干渉源を遠ざければ、トラブルが起きる可能性は少なくなります。以下のものは、AirMac 通信への干渉を引き起こします：

- 電子レンジ
- DSS（Direct Satellite Service）の無線周波数
- ある種の衛星用アンテナに付属する古い同軸ケーブルは干渉を引き起こすことがあります。装置の製造元に問い合わせて、新しいケーブルを入手してください。
- 電線、鉄道架線、発電所などの大規模な電気設備
- 2.4 GHz帯で使用されるコードレス電話機。電話機またはAirMac通信に問題がある場合は、ベースステーションまたは AirMac Express が使用するチャンネルを変更してください。
- 近接したチャンネルを使用している隣接したベースステーション。たとえば、ベースステーション A をチャンネル 1 に設定している場合は、ベースステーション B をチャンネル 6 以上に設定しなければなりません。

追加情報／サービス／サポート

5

AirMac Express の使いかたに関する追加情報は、ハードディスク、Web、およびオンスクリーンヘルプで参照できます。

インターネットでのサービス／サポート

AirMac Express の最新情報については、www.apple.com/jp/airmacexpress にアクセスしてください。

AirMac Express のユーザ登録を行うには（AirMac Express CD に収録されているソフトウェアをインストールしたときに登録しなかった場合）、www.apple.com/jp/registration にアクセスしてください。

AirMac のサービス＆サポート情報、製品についての情報や意見の交換、最新のアップルソフトウェアのダウンロードについては、www.apple.com/jp/support/airmac にアクセスしてください。

日本国外でのサポートについては、www.apple.com/jp/support にアクセスして、ポップアップメニューから国を選んでください。

オンスクリーンヘルプ

- AirMac の使いかたについて詳しい情報を見るには、「AirMac ユーティリティ」を開き、「ヘルプ」＞「AirMac ユーティリティヘルプ」と選択します。

保証サービスを利用する

AirMac Express が損傷したり、正しく機能しない場合は、このガイド、オンスクリーンヘルプ、およびインターネットのサービス／サポートの指示に従ってください。

それでも装置が機能しない場合は、www.apple.com/jp/support にアクセスして保証サービスの利用方法に関する説明を参照してください。

AirMac Express のシリアル番号が印刷されている場所

シリアル番号は AirMac Express の表面に印刷されています。

AirMac Express の仕様

AirMac の仕様

- 周波数帯域： 2.4 または 5 GHz（ギガヘルツ）
- ワイヤレス出力： 20 dBm（公称値）
- 規格： 802.11 DSSS 1 および 2 Mbps 規格、802.11a、802.11b、802.11g 仕様、および 802.11n ドラフト仕様

インターフェイス

- 内蔵 10/100Base-T 用の RJ-45 Ethernet LAN コネクタ（<··>）
- USB（Universal Serial Bus）（ψ）
- アナログ／光デジタル 3.5 mm ミニジャック
- AirMac Extreme

動作環境

- 動作時温度： 0° C 〜 35° C（32° F 〜 95° F）
- 保管時温度： –25° C 〜 60° C（–13° F 〜 140° F）
- 相対湿度（稼働時）： 20%〜 80%の相対湿度
- 相対湿度（保管時）： 10%〜 90%の相対湿度（結露しないこと）
- 稼働時高度：0 〜 3,048 m（0 〜 10,000 フィート）
- 保管時高度（最大）：4,572 m（15,000 フィート）

外形寸法

- 高さ：94 mm
- 幅：75 mm
- 厚さ：28.5 mm

ハードウェア・アドレス

AirMac Express には次の 2 つのハードウェア・アドレスがあり、これらはケースの側面に印刷されています：

- AirMac ID：ワイヤレスネットワーク上でAirMac Express を識別するために使用されるアドレスです。
- Ethernet ID：MAC アドレスとも呼ばれます。AirMac Express をインターネットに接続するときに、このアドレスを ISP に知らせなければならない場合があります。

AirMac Express の安全に関するヒント

- AirMac Express を電源コンセントから取り外さない限り、電源を完全に切ることはできません。
- AirMac Express をコンセントに接続したりコンセントから取り外すときは、必ず側面を持ってください。プラグの金属部分をさわらないでください。
- AirMac Express は高電圧の機器であるため、電源コンセントから取り外しているときでも絶対にケースを開けないでください。AirMac Express の修理が必要な場合は、37 ページの「追加情報／サービス／サポート」を参照してください。
- コネクタをポートに無理に差し込まないでください。コネクタとポートが簡単に結合しない場合は、それらが適合していない可能性があります。コネクタがポートに適合していること、また、コネクタとポートを正しい向きで合わせていることを確かめてください。

- 別売の電源コードを使う場合は、AirMac Express が電源コードでつり下げられた形にならないように設置してください。
- AirMac Express を使っているときにケースが温かくなるのは異常ではありません。AirMac Express のケースは、内部の熱を外部に移す冷却面の役目をします。

湿気のある場所を避ける

警告：感電や怪我を防止するため、水の近くや湿気のある場所でAirMac Express を使用しないでください。

- 飲み物、洗面台、浴槽、シャワー室など、水気のある場所から離れたところに AirMac Express を設置してください。
- AirMac Express を直射日光や雨などの湿気にさらさないでください。
- AirMac Express に食べ物や液体をこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合は、ふき取る前に AirMac Express を電源コンセントから取り外してください。

食べ物や液体をこぼしてしまった場合は、修理のために装置をアップルに送付してください。詳しくは、詳しくは、37 ページの第 5 章「追加情報／サービス／サポート」を参照してください。

自分で修理しない

警告：AirMac Express のケースを開けたり、分解したりしないでください。感電の危険があり、また製品保証が無効になります。内部には、お使いの方がご自身で修理できる部品はありません。

法規制の順守に関する情報

Wireless Radio Use

This device is restricted to indoor use due to its operation in the 5.15 to 5.25 GHz frequency range to reduce the potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite systems.

Cet appareil doit être utilisé à l’intérieur.

Exposure to Radio Frequency Energy

The radiated output power of this device is well below the FCC and EU radio frequency exposure limits. However, this device should be operated with a minimum distance of at least 20 cm between its antennas and a person’s body. The antennas used with this transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

FCC Declaration of Conformity

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See instructions if interference to radio or television reception is suspected.

Radio and Television Interference

This computer equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Apple’s instructions—it may cause interference with radio and television reception.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in Part 15 of FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether your computer system is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the computer or one of the peripheral devices.

If your computer system does cause interference to radio or television reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Turn the television or radio antenna until the interference stops.
- Move the computer to one side or the other of the television or radio.
- Move the computer farther away from the television or radio.
- Plug the computer into an outlet that is on a different circuit from the television or radio. (That is, make certain the computer and the television or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

If necessary, consult an Apple Authorized Service Provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/television technician for additional suggestions.

Important: Changes or modifications to this product not authorized by Apple Inc. could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

This product was tested for FCC compliance under conditions that included the use of Apple peripheral devices and Apple shielded cables and connectors between system components. It is important that you use Apple peripheral devices and shielded cables and connectors between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, television sets, and other electronic devices. You can obtain Apple peripheral devices and the proper shielded cables and connectors through an Apple-authorized dealer. For non-Apple peripheral devices, contact the manufacturer or dealer for assistance.

Responsible party (contact for FCC matters only): Apple Inc., Corporate Compliance, 1 Infinite Loop M/S 26-A, Cupertino, CA 95014-2084.

Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

Europe — EU Declaration of Conformity

For more information, see www.apple.com/euro/compliance.

European Union — Disposal Information

This symbol means that according to local laws and regulations your product should be disposed of separately from household waste. When this product reaches its end of life, take it to a collection point designated by local authorities. Some collection points accept products for free. The separate collection and recycling of your product at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.

廃棄とリサイクルに関する情報

本製品にはバッテリーが内蔵されています。廃棄の際には、お住まいの地域の法規制を順守してください。アップルのリサイクルプログラムについては、www.apple.com/jp/environment にアクセスしてください。

California: The coin cell battery in your product contains perchlorates. Special handling and disposal may apply. Refer to www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate.

Deutschland: Dieses Gerät enthält Batterien. Bitte nicht in den Hausmüll werfen. Entsorgen Sie dieses Gerätes am Ende seines Lebenszyklus entsprechend der maßgeblichen gesetzlichen Regelungen.

Nederlands: Gebruikte batterijen kunnen worden ingeleverd bij de chemokar of in een speciale batterijcontainer voor klein chemisch afval (kca) worden gedeponeerd.

Taiwan:

廢電池請回收

環境向上への取り組み

アップルでは、事業活動および製品が環境に与える影響をできる限り小さくするよう取り組んでいます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment

中国

有毒或有害物质	零部件		
	电路板	附件	电源适配器
铅 (Pb)	X	X	X
汞 (Hg)	O	O	O
镉 (Cd)	O	O	O
六价铬 (Cr, VI)	O	O	O
多溴联苯 (PBB)	O	O	O
多溴二苯醚 (PBDE)	O	O	O

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。

根据中国电子行业标准 SJ/T11364-2006 和相关的中国政府法规，本产品及其某些内部或外部组件上可能带有环保使用期限标识。取决于组件和组件制造商，产品及其组件上的使用期限标识可能有所不同。组件上的使用期限标识优先于产品上任何与之相冲突的或不同的环保使用期限标识。

Taiwan Warning Statements

無線設備的警告聲明

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

如有這 頻率:

於 5.25GHz 至 5.35GHz 區域內操作之
無線設備的警告聲明

工作頻率 5.250 ～ 5.350GHz 該頻段限於室內使用。

Korea Warning Statements

″당해 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음″
″이 기기는 인명안전과 관련된 서비스에 사용할 수 없습니다″

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

www.apple.com/jp/airmac
www.apple.com/jp/support/airmac

J034-4657-A
Printed in XXXX